



私立・専修入試を終えて…

私立高校・専修学校の入試が終わりました。皆さんに書いてもらった入学試験の記録を読んでもみると、学力試験が難しかったり、面接で思うように答えることができなかつたりなど、入試の雰囲気にもまれてしまった人もいたようです。今回の経験を生かし、次の公立入試がある人は頑張ってもらいたいと思います。そして、新型コロナウイルスに負けないように、今一度体調管理の徹底もしましょう。



私立高校・専修学校入学金（前納分）について

各家庭に入試結果の通知が届くかと思えます。私立高校・専修学校一般入試で合格した場合は、速やかに前納分の入学金の納入をお願いします。

（各学校によって表記の仕方が違いますが、同じようなものとして扱ってください。例：入学一時金、入学手続金など）

ほとんどの学校で**20,000円**を納めることになっています。納入期限については、それぞれの学校によって違うので、各学校の募集要項を今一度確認の上、確実に納入をお願いします。また、確実に納入されたかの確認をしたいので、証明書を担任の先生に見せてください。

※納入しなかった場合は、合格が無効となります。

保護者の皆様にお手数をかけますが、よろしくをお願いします。



入試を終えての感想（私立・専修編）

とても緊張しましたが、試験時間はあっという間に過ぎたと思います。問題は基礎問題が多く、思ったより易しかったです。面接は思っていたよりも質問数が少なかったですが、一つの質問に対して深く聞かれました。

周りが知らない人だらけでとても緊張しましたが、テストが始まる前に深呼吸をすることで、周りを気にせず落ち着いて取り組むことができました。過去問をしっかりとやったことのできると思う問題が多く、スラスラと説くことができました。

面接は初めとても緊張しましたが、面接官の先生が親切だったのでとてもやりやすかったです。また、時間に余裕をもって高校まで行くことができたので、あせらずに行動することができました。

高校入試は堅いイメージがありましたが、案外いつものテストのような感じのできたので良かったです。最初は緊張しましたが、だんだん慣れて実力を発揮することができて良かったです。次の公立入試に生かして、落ち着いてできるように頑張りたいです。

行きの電車が満員電車できつかったので、これを3年間通い続けることができるのか不安になった。去年と全く系統の違う問題がたくさんあったので、そこがきちんとできたかで合否につながるのかなと思った。

公立高校入試出願について

以前の進路だよりでもお伝えしましたが、願書などの出願書類は原則郵送で送り、受検票は本校職員が取りに行くという形をとります。受検票や注意事項などのプリントについては、2月下旬の事前指導にて配付します。以前のように生徒が書類を持っていくという形をとらないので、事前に下見をすることができません。体験入学で既に行ったことがあればよいですが、もし、受検する学校に行ったことがない場合は、事前によく調べておきましょう。実際に行ってみるのも一つですが、その場合は感染対策を十分にしておきましょう。

そして、公立高校での出願については、願書のチェックがかなり厳しいです。丁寧な字で書かないと「これはどんな字ですか？」と事務の方から質問を受けます。また、学科名なども正確に書かなければなりません。きちんとできていないと出願が受理されません。スムーズに出願を終えるためにも、①期日をきちんと守ること、②誰が見ても分かる字で丁寧に書くこと、③学科名や住所など、正確に書いてあることが重要です。細かい話にはなりますが、よろしくお祈りします。



須浪の独り言・・・

面接練習の様子を見ていると、皆真剣に取り組む姿が見られました。とてもいい表情で受け答えができ、終わった後も一生懸命にやったという気持ちが表れていた人が多かったです。しかし、極度の緊張のせいで、なかなか思うように答えられない人もいました。

部活動の試合やテストと同じように、「本番までにいかに準備しているか」ということが大切だと思います。面接の答え方に、それぞれの質問に対して自分の考えをまとめることができているのでしょうか。いざ質問をされたときに、いろいろと準備しているとさっと答えることができます。また、聞きなれないような変わった形の質問が出たとしても、「…ということでしょうか。」と聞き直して落ち着いて答えることもでき、その場で応用を効かせることができると思います。



また、これは面接に限った話ではありませんが、気持ちのいい挨拶ができることも大切です。面接会場に入るときに「失礼します」という挨拶をしますが、普段から職員室での入室のときにきちんとできているのでしょうか。また、授業での礼の仕方にもつながりますが、普段の生活から気を付けていれば、そのまま気負うことなくできると思います。残りの授業で少しでも意識しながら取り組むと、だんだんと良くなっていくと思います。しっかり取り組んでいきましょう。



最後に、面接では面接官の方に向けて話すことになりますが、視線はネクタイの結び目あたりを見るとよいとされています。視線をどこにおいていいのか…、と迷う人もいるかと思いますが、参考してみてください。また、質問されたときにすぐに答えるのではなく、一呼吸おいて落ち着いてから答えるというのでもいいでしょう。途中で言葉につまったときにも、この方法は有効だと思います。これから面接練習が始まる人も、以上のことを参考にしてみてください。みなさんのがんばりに期待しています。